

株式会社 インターサポート

<実作業ハンドブック>

G-SCANを使用した OBD検査



G-SCAN製品サイト
<https://g-scan.jp/>



OBD検査：概要

OBD検査とは… 「スキャンツールを用いた電子的な検査」

【目的】 電子制御装置などの故障の有無を判定し、保安基準が定める性能要件を満たさない不具合を見つける



検査の流れ

STEP 01

特定DTC照会アプリで
故障コード読み出し

STEP 02

検査用サーバーに
送信し合否判定

STEP 03

特定DTCがあれば
「不適合」

必要なもの

01

認定された
検査用スキャンツール
(Z Tab・Z・G-scan3)

02

Windows搭載機器
(Z Tabの場合は不要)

03

インターネット環境

株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

OBD検査：準備

Windows機器 (Z Tab・PC・タブレット) に [J2534ドライバー] と [特定DTC照会アプリ] をインストールする



J2534ドライバー

開発元：株式会社インターサポート

[G-SCAN製品ページ](#) >>> [ユーザー認証](#)

(Z Tab：2024年6月以降は出荷時にインストール済)



特定DTC照会アプリ

お問い合わせ先：[OBD検査ポータル](#)

YouTube[\[OBD検査チャンネル\]](#)も

わかりやすくおすすめです！



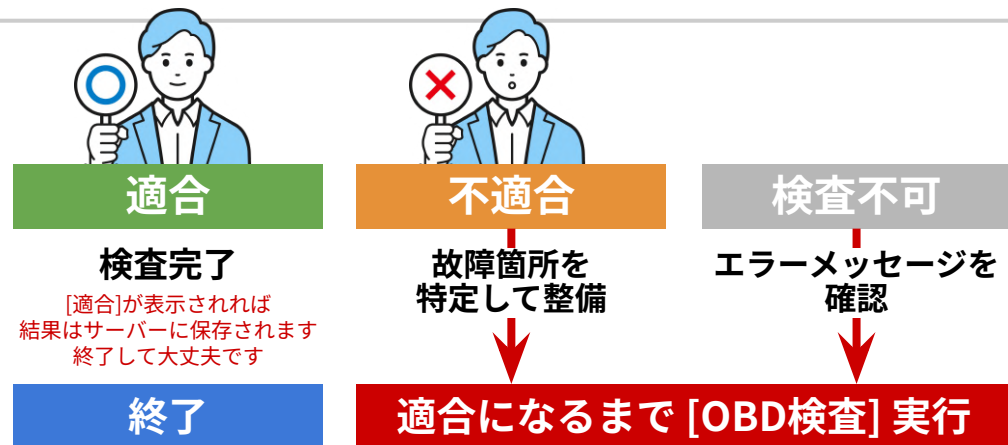
OBD検査：作業手順

実際の手順を見ていきましょう！

YouTube[OBD検査チャンネル]
 特定DTC照会アプリの操作方法_簡易版
<https://www.youtube.com/watch?v=U1j2UCtv1Wk>



STEP 04



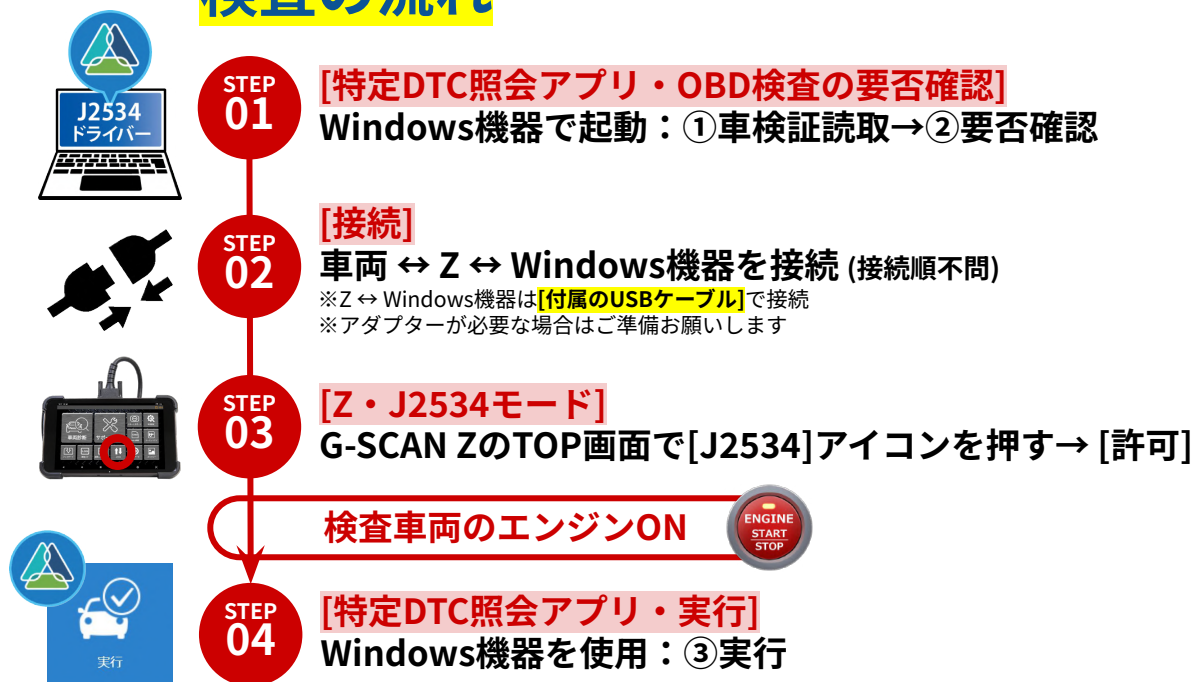
OBD検査：Z

※ ZはAndroid搭載なので、別途Windows搭載機器が必要です！

YouTubeスキャンツールチャンネル
OBD検査の流れ_Z(1:26-)
<https://www.youtube.com/watch?v=KFJzilsUIZM>



検査の流れ

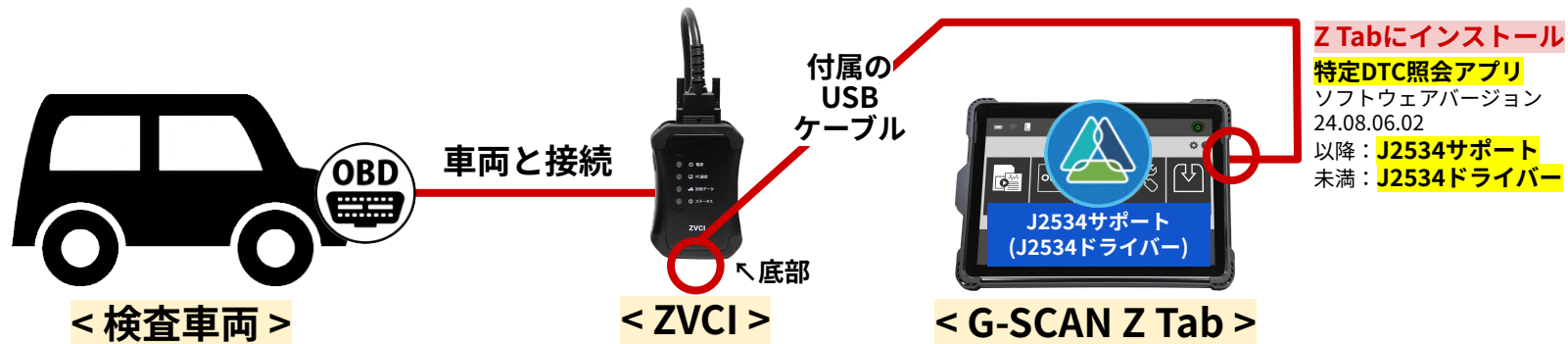


株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

OBD検査：Z Tab(MS・LV共通)・有線

※ Z TabはWindows搭載なので、別途PC・タブレットは不要です！

YouTubeスキャンツールチャンネル
OBD検査の流れ_Z Tab(4:41-)
<https://www.youtube.com/watch?v=KFJzilsUJZM>



検査の流れ



STEP 01

[特定DTC照会アプリ・OBD検査の要否確認]
Z Tabで起動：①車検証読取→②要否確認



STEP 02

[接続]
車両 ↔ ZVCI ↔ Z Tabを接続 (接続順不問)
※ZVCI ↔ Z Tabは[付属のUSBケーブル]で接続



STEP 03

[Z Tab・J2534モード]
ソフトウェアバージョン[24.08.06.02]
以降：① J2534サポート
未済：② Z Tab診断ソフト

検査車両のエンジンON



STEP 04

[特定DTC照会アプリ・実行]
Z Tabで起動：③実行

[24.08.06.02]以降

① J2534サポート



[24.08.06.02]未済

② Z Tab診断ソフト



J2534モードになると
[ステータス]が緑に点滅

①②どちらの方法も共通

株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

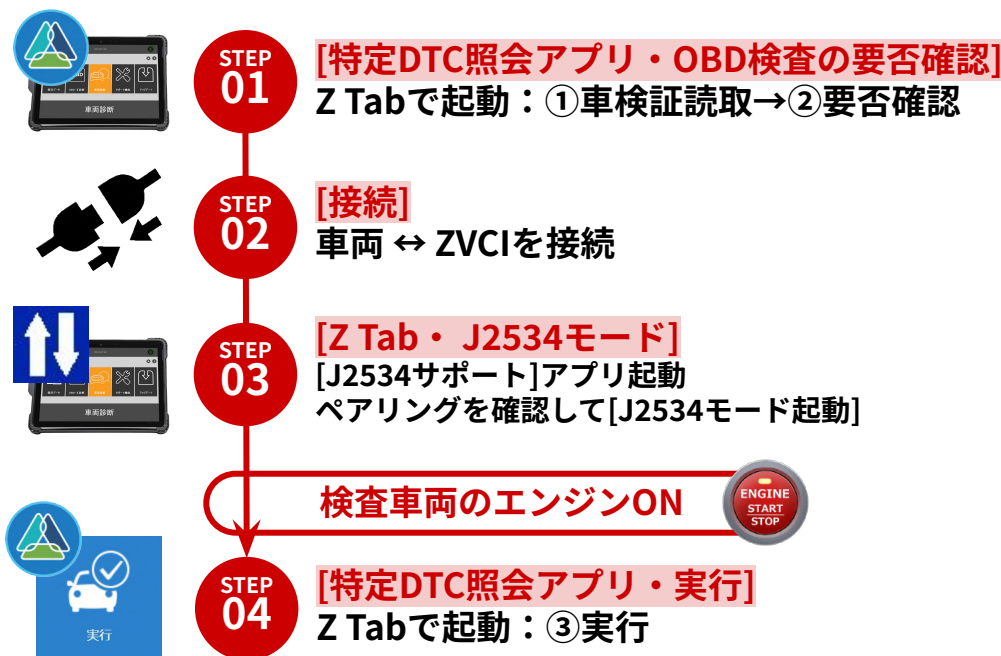
OBD検査：Z Tab(MS・LV共通)・無線

※ Z TabはWindows搭載なので、別途PC・タブレットは不要です！

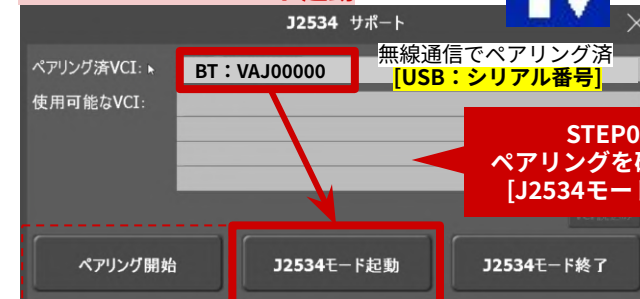
G-SCAN製品ページ内
[J2534サポート]インストールガイド



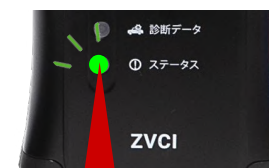
検査の流れ



STEP03：J2534モード起動



※[J2534サポート]を
Z Tab以外のWindows機器に
インストールしている場合は
ZVCIのペアリングが必要です



J2534モードになると
[ステータス]が緑に点滅

株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

OBD検査：Z Tab(MS)・無線でOBD検査を実施するためには？



ご購入が…

2024年11月以降：無線に対応した状態で出荷しているため、そのままお使いいただけます
 2024年10月以前：[Z Tab(MS)]に[J2534サポート]というアプリのインストールが必要です



以下の条件を確認し、ご準備をお願いします

2023年10月以降購入なら大丈夫

条件 01

ご購入は
お近くの販売代理店でOBD検査
適合キット
装着

Z Tab用
2,500円(税込2,750円)
適合証明書
電源ジャック保護キャップ他

2024年8月以降購入なら大丈夫

条件 02

本体設定(歯車アイコン)から
ご確認くださいソフトウェアVer.
24.08.06.02
以降ソフトウェアアップデートの
有効期限が切れている場合は
更新のお申し込み(有料)が必要

↓↓未満の場合↓↓

2023年11月以降購入なら大丈夫

条件 03

ファームウェアVer.が
2.50ならJ2534サポート
インストール
最新版:Ver.1.02ユーザー認証ページ
ダウンロード ボタンからインストールした[J2534サポート]で
ファームウェアVer.を再確認
2.50であれば完了です!

完了

<よくあるご質問>

ソフトウェアアップデートしたら
振興会に再届出が必要？

- ①ZVCIを車両と接続
- ②[J2534サポート]
アプリ起動
- ③J2534モード起動
- ④Ver読み込みを選択→

スキャンツール情報

型式: ZVCI
 製造番号: VAJ00000
 ■J2534ApiVer (規格 Ver0404) : 04.04
 メーカー名: EZDS CORPORATION
 ドライババージョン: 9.54.37.938
 フォームウェアバージョン: 2.50
 ■J2534ApiVer (規格 Ver0500) : 05.00
 メーカー名: EZDS CORPORATION
 ドライババージョン: 9.54.37.938
 フォームウェアバージョン: 2.50
 ISO13400 (DoIP) : Ethernet



ソフトウェアアップデートしたら
ファームウェアが2.20→2.50になった
型式試験番号も
JASEA-KS-3→40(41)になるようだし
再度届出が必要なのかな？

再届出の判断は都道府県ごとに異なります
お近くの振興会にお問い合わせください

ソフトウェアアップデート後
車両診断を実施

車両通信することで
ファームウェアを2.50に更新
(※OBDII診断では更新されません)



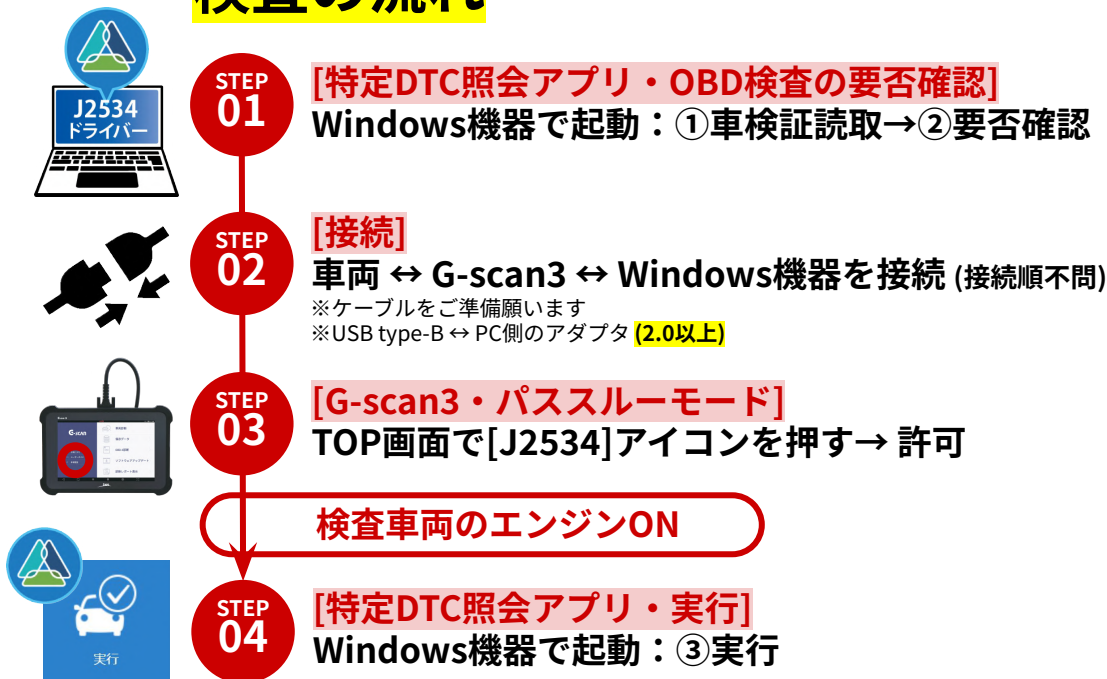
株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

OBD検査：G-scan3

※ G-scan3 はAndroid搭載なので、別途Windows搭載機器が必要です！



検査の流れ



株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

OBD検査：特定DTC照会アプリ



機種名が表示されない：J2534ドライバーが未インストール

製品サイト→ユーザー認証ページで、ダウンロードボタン(緑色)が表示されない場合は、販売店様に依頼して[OBD検査適合キット]をご入手願います

エラー[0000/0002]

検査用スキャンツールの選択が異なるか
USBケーブルの接続不良の可能性がります

以下になっているかご確認ください

- Z・Z Tab：[ZENITH]
- G-scan3：[G-scan (for Others)]

CHECK!

OBD確認モード メニューへ ログアウト

処理を終了します。イグニッションをOFFにして、検査用スキャンツールを取り外してください。

検査用スキャンツール **必須** ZENITH

車台番号 型式 リコール情報参照

車検証 二次元コード読取 | 電子車検証 ICタグ読取 | 車両情報 手入力 諸元表参照

入力内容クリア

「要否確認」 OBD検査が必要か 確認します

結果 車名 データリンクコネクタの位置表示

検査要否確認

前回判定結果 前回判定時刻 OBD実施履歴参照

車両のエンジンはON!

検査結果/確認結果 **不適合** 中止

判定時刻 次の車両 >

検査結果を確認

結果詳細表示 | 結果詳細CSV出力

Ver.確認はここから | データ保管したい時

VCi情報 | 帳票PDF出力

読み取り方法を
選択してスタート

1

読み取り方法については
次ページ以降をご覧ください

「要否確認」
OBD検査が必要か
確認します

2

車両のエンジンはON!

適合=完了
不適合の場合は
整備して再実行

3

株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

OBD検査：特定DTC照会アプリ・電子車検証の読み取り



G-SCAN Z・G-scan3

手入力 または 二次元コード/ICタグリーダーを別途準備

[J2534ドライバー]と[特定DTC照会アプリ]を入れたWindows機器に
二次元コードリーダーやICタグリーダーを接続する



G-SCAN Z Tab(MS)

本体右上に
電子車検証を当ててICタグ読取

G-SCAN Z Tab(LV)

本体付属の
ICタグリーダーを使用してICタグ読取

※PaSoRi(SONY)：RC-S300



音が鳴っている間に
青いボタンを押す！

ピロロローン、のように鳴ります
聞こえにくい場合があるので
事前に音量を最大にするのが
おすすめです！



4桁のセキュリティコードは
半角数字で入力(次ページ参照)



OBD検査：特定DTC照会アプリ・電子車検証読み取りの流れ

YouTube OBD検査チャンネル
操作方法_簡易版(7:00付近-ご覧ください)



共通

二次元コード・ICタグ

STEP 01

[設定] メニュー画面[設定] → 二次元またはICタグリーダーを選択 → [設定]

車検証二次元コードリーダー

現在の設定 (設定されていません)

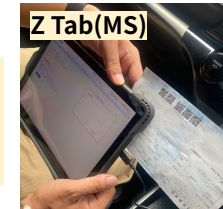
機器を選択

電子車検証ICタグリーダー

現在の設定 Sony Felica Port/PaSoRi 3.0.0

機器を選択

● 本体/付属ICリーダーを使用する場合…
Z Tab(MS)=Microsoft [IFD 0]
Z Tab(LV)=Sony Felica Port/PaSoRi 3.0.0



STEP 02

[モード選択] OBD検査 または OBD確認・**[検査用スキャンツール選択]**

※Z・Z Tab：[ZENITH]、G-scan3：[G-scan (for Others)]



二次元コード



STEP 03

[二次元コード読込]



特定DTC照会アプリでの二次元コードリーダーの使用方法について

STEP 04

[確認]

読み取りが完了したら自動で[OBD検査モード]に戻ります
内容が正しいか、ご確認をお願いします



ICタグ



STEP 03

[セキュリティコード入力] 車検証右下の4桁の数字



①セキュリティコードの入力
セキュリティコードを半角数字で入力してください。
セキュリティコードは車検証表面の右下にある4桁の数字です。

1234

セキュリティコード：4桁数字を半角入力

STEP 04

[ICタグ読取]

Z Tab(MS)=本体右上
Z Tab(LV)=製品付属
Z・G-scan3=別途

③読取開始ボタンをクリック
読取開始ボタンをクリックしてください。
※金属製のものが近くにある場合、うまく読み取れないことがあります。
※端末によってカードを認証するまでに3～5秒間かかることがあります。

読取開始

STEP 05

[確認]

読み取りが完了したら自動で[OBD検査モード]に戻ります
内容が正しいか、ご確認をお願いします

株式会社インターサポート：G-SCANを使用したOBD検査

OBD検査：特定DTC照会アプリ・結果確認

OBD検査結果詳細 メニューへ ログアウト

詳細内容を確認してください。

検査/確認	車台番号	型式	類別区分番号	燃料の種類
確認		GAA-MXPK11	0006	ガソリン・電気

不 適 合

排ガス (J-OBD II) | 特定DTC 2件 (6件まで表示：全ての特定DTCを見る場合は、右のボタンから [全ての特定DTCを見る](#))

区分	ECU名称等	コード	名称
排ガス	-	P0102	
排ガス	-	P0113	

エンジン系項目
※EVでは[未サポート]

凡例：完了 未完了 未サポート

安全	触媒	エンジン失火検知システム	酸素センサまたは空燃比センサ	排気ガス再循環システム
通信	-	-	-	-
特定DTC	-	-	-	-

レディネスコード^① 5個中2個完了

項目	状態	結果
電圧	○	11.8V
MIL	×	ON
レディネス	○	適合
通信	○	成立
特定DTC	×	不適合

1個以上[完了]にならないと [適合]になりません

結果詳細CSV出力 帳票PDF出力 **データ保管したい時**

戻る

MIL：警告灯
チェックランプなど

レディネスコード：
車両ECUの
自己診断の実施履歴

[特定DTC]が不適合：
OBD車検に通らない

G-SCANの[自己診断]から
詳細内容を確認できます

※コードが一致しない場合もあります



指定工場：自社で車検
認証工場：陸運局に持ち込み、[車検の最終チェック]を受ける

国産車：2021年(R3)
輸入車：2022年(R4) **10月1日以降発売の新型車**
(フルモデルチェンジ車)

※完成検査

- 購入3年後に車検としても、2024年10月時点では対象車は少ない(新型車が条件のため)
- 乗用車より商用車の方が先に入庫増える見込み
- 認証工場：車検(完成検査)自体は陸運局が実施
スキャンツールがあれば自社内で先行してOBD確認ができるので安心して持っていける

お役立ち情報

G-SCAN

< 製品サイト >

ユーザー認証もこちらから

ジースキャン



<https://g-scan.jp/>



< 公式BLOG >

最新情報や活用方法を日々更新！

G-SCAN お役立ち情報



<https://contents.g-scan.jp/top>



公式SNS



YouTube

< スキャンツールチャンネル >

<https://www.youtube.com/@scantool.g-scan/videos>



< 各種リンク >

公式LINE

インスタ

TikTok

<https://lit.link/gscan>



OBD検査ポータル



OBD検査

< OBD検査ポータルサイト >

<https://www.obd.naltec.go.jp/>



YouTube

< OBD検査チャンネル >

準備から操作方法まで
わかりやすい！

<https://www.youtube.com/@OBD-nw5xh>





G-SUPPORT Webサイト
<https://g-scan.jp/after-support/>

G-SUPPORT

< 整備サポートセンター >

自社運営整備サポートセンター
26年の歴史、対応件数36万件以上
圧倒的な実績を誇る私たちが
すべての整備士のサポーターになります

✓ 圧倒的な情報量

✓ 多数のメーカーに対応

✓ 整備作業を効率化

✓ 幅広い車種もサポート



長年かけて培った
信頼とビッグデータ

スキャンツールメーカー運営の
整備サポートセンター
豊富なデータが自慢です



エンジニアの
知識量と人数

ディーラーやメーカー出身の
一級自動車整備士たちが
難しいご質問にも的確に回答



情報量に自信あり
多数の整備書を保有

約1億円に相当する
膨大な情報資産で
あなたの作業をサポート!



G-TRAINING Webサイト
<https://g-scan.jp/after-support/training>

G-TRAINING

< 技術研修会 >

スキャンツールメーカー主催
「座学」と「実技」で分かりやすい!
自動車整備を知り尽くした私たちだからこそ
「知りたかった」に自信を持ってお答えします



経験豊富な
専任講師

スキャンツールの
スペシャリストがノウハウ伝授



初級から上級まで
幅広い授業内容

整備士経験の浅い方から
中堅の方まで広くカバー



受りたい講座だけ
選んで受けられる!

習熟度に合わせた講座を
自由自在に組み合わせ可能



出張研修も開催中
遠方の方もぜひ

受けてほしいけれど遠いとお悩みの方も安心ください



ここでしか手に入らない
オリジナルテキスト

終了後も読み返したくなる
実践知識満載のテキスト



少人数で
質問しやすい!

講師と受講者の距離が近い
分からないことは気軽に質問

※講座のカリキュラムや日程はWebサイトをご覧ください